「元気が一番」塾

子どもと楽しむゲームあれこれ 実技編

2007.6.16 仲島正教

(http://www2.bbweb-arena.com/naka602)

- 1. たかが集合、されど集合。 きちっと集合の出来るクラスに
 - ・集合がうまくできるクラスは、なんでもうまくできるもの。
 - →集合は子どもの心も一つにしていく(連帯感)
 - ・集合は「並べるより、かためろ」が原則
 - →集合した時、先生と子どもの距離は、出来るだけ近い方がいい。心の距離感
 - ・集合の時、いつも後ろの方にいる子は、次の集合では先生の前に来るようにする →その方法は・・・教師が動けばいいだけ。
 - ・集合の合図は、笛? それともタンブリン?・・・。 ジャラジャラ パン → 動きを止めて先生に注目 ジャラジャラ パンパン → 先生の所へすばやく集合
 - ・遠足の集合・・・・ここで担任の力量がわかる
 - →遠足で役立つ点呼の方法
- 2. 体を動かす「ゲーム」は楽しい、そして子どもが育つ。でもそのためには・・・・・
 - ・体を動かす「ゲーム」は子どもの心を解放していく
 - →まずは、先生が解放されないとダメ 「アホになろう!」
 - ・体を動かす「ゲーム」で大事なこと、それはルールを守ること
 - →ルールをやぶる、悪ふざけ、ひやかし、暴力・・・・絶対に許さない
 - ・体を動かす「ゲーム」を一生懸命にするから楽しい。
 - →しょうもないことも、一生懸命すればだんだん楽しくなる、そんな経験を!
 - ・体を動かす「ゲーム」の中で人間関係がわかる
 - →子どもと子どもをつなぐ接点を「ゲーム」でつくる
 - ・体を動かす「ゲーム」で子どもは育つ
 - →学級づくり、仲間づくりには欠かせない。 TVゲームとは大きく違う
- 3. 体を動かす「ゲーム」や「体操」の例

・じゃんけんボール

・猛獣狩り

・けいどろ

・ホーキポーキ

・大あらし

手つなぎおに

・ビリーズバーベキュー

・ウンチャカ

バンザイで待ってる間に

・アブラハムの子

・命令ゲーム

・ミルクか?水か?

・レッツスポーツ

・拍手を一回

・次の数字は?ゲーム

・ドキドキゲーム

・行進ゲーム

・オープンクローズ 等

4. 心をふるわす感動の音色 ♪こんなBGMはどうですか・・・